

第 12 回 TIA シンポジウムを開催

ー テーマは「新価値創造、技術革新。TIA 発、イノベーション。」ー

2020 年 10 月 27 日

TIA

(国立研究開発法人 産業技術総合研究所)

(国立研究開発法人 物質・材料研究機構)

(国立大学法人 筑波大学)

(大学共同利用機関法人 高エネルギー加速器研究機構)

(国立大学法人 東京大学)

(国立大学法人 東北大学)

■ ポイント ■

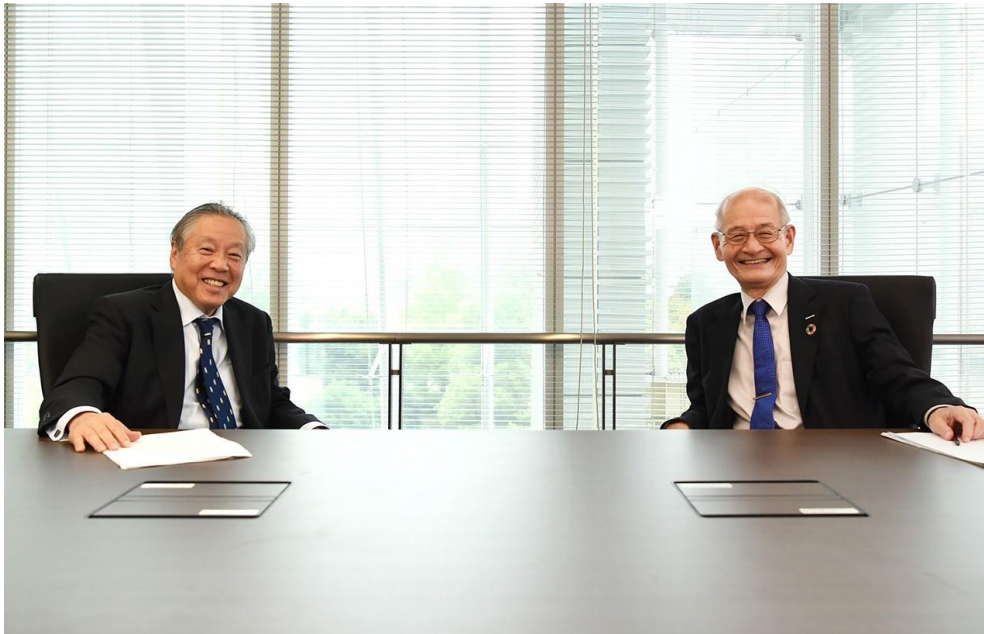
- ・ オープンイノベーション拠点 TIA はこれまでの活動成果と必要性を周知するためシンポジウムを開催
- ・ 吉野彰氏(ノーベル化学賞受賞者・産総研ゼロエミッション国際共同研究センター長)と東哲郎氏(TIA 運営最高会議議長)の対談を実施
- ・ 有識者からのメッセージや、成果講演、パネル討論など豊富なコンテンツを用意

■ 概 要 ■

オープンイノベーション拠点 TIA(以下「TIA」という)は、11 月 19 日(木)13 時より「第 12 回TIAシンポジウム」をウェブ配信にて開催する。

本シンポジウムは、TIA の活動成果と必要性を周知するための催しで、プログラムでは、吉野彰氏(ノーベル化学賞受賞者・産総研ゼロエミッション国際共同研究センター長)と東哲郎氏(TIA 運営最高会議議長)との対談、TIA と関係の深い大野英男氏(東北大学総長)や飯島澄男氏(名城大学終身教授)のメッセージ、パネル討論では基礎および応用研究、新技術開発の加速に必要な、「ヒト・モノ・カネ」の好循環を阻害する諸問題について、業界を超え各領域で活躍する方々による討論の模様をお届けする。

_____は【用語の説明】参照



吉野彰氏(写真右:ノーベル化学賞受賞者・産総研ゼロエミッション国際共同研究センター長)と東哲郎氏(写真左:TIA 運営最高会議議長)の対談の様子

■ プログラムの内容 ■

シンポジウムのプログラムは次の通り(各時間は予定)。

時間	プログラム
13:00	開会挨拶：東哲郎（TIA 運営最高会議議長） 来賓挨拶：内閣府 経済産業省 文部科学省
13:10	TIA 第三期ビジョンについて：金丸正剛（産総研副理事長）
13:25	「オープンイノベーションの役割と期待：前編」：対談 吉野彰（ノーベル化学賞受賞者・産総研ゼロエミッション国際共同研究センター長） 東哲郎（TIA 運営最高会議議長・東京エレクトロン株式会社チェアマン・エメリタス）
13:45	科学者・研究者・技術者へのメッセージ： 「～挑戦～筋書きのない物語」プロフェッショナルからの知見 大野英男（東北大学総長） 飯島澄男（名城大終身教授・産総研名誉フェロー）
14:05	TIA 新領域開拓「調査研究」支援：連携プログラム探索推進事業「かけはし」 大山英明（産総研 インダストリアル CPS 研究センター） 茂木克雄（産総研 細胞分子工学研究部門） 坂牛健（NIMS エネルギー・環境材料研究拠点ナノ界面エネルギー変換グループ）

14 : 30	TIA 成果講演 1 : パワーエレクトロニクス マネージメントグループ 奥村元 (産総研 先進パワーエレクトロニクス研究センター) TIA 成果講演 2 : 光・量子計測マネージメントグループ 木村正雄 (KEK 物質構造科学研究所) TIA 共用施設のご紹介 : TIA 共用施設およびデータベース検索の紹介
15 : 00	「オープンイノベーションの役割と期待 : 後編」 : 対談 吉野彰・東哲郎
15 : 20	パネル討論会 : 「産学連携とイノベーション拠点としての TIA への期待」 パネリスト : 今田俊也 (NEDO 材料・ナノテクノロジー 部長) 笹月俊郎 (JST 産学連携展開部 部長) 遠藤哲郎 (東北大学教授・国際集積エレクトロニクス研究開発センター長) 山田昭雄 (NEC 執行役員)
15 : 50	シンポジウムのまとめ・閉会挨拶 青柳昌宏 (TIA 事務局長)
16 : 00	終了

■ 参加方法 ■

11 月 16 日(月)17 時までに TIA のウェブサイトより事前参加登録が必要。先着 500 名限定(予定)。
当日の参加 URL や操作方法の説明などは、シンポジウム2日前を目途に事前参加登録者に対して連絡の予定。

事前参加登録 URL

■ 本件問い合わせ先 ■

TIA事務局

〒305-8569 茨城県つくば市小野川 16-1 つくば西 国立研究開発法人 産業技術総合研究所 TIA 連携棟内

TEL:029-862-6123 FAX:029-849-1020

E-mail:

【用語の説明】

◆オープンイノベーション拠点 TIA

国立研究開発法人 産業技術総合研究所（産総研）、国立研究開発法人 物質・材料研究機構（NIMS）、国立大学法人 筑波大学、大学共同利用機関法人 高エネルギー加速器研究機構（KEK）、国立大学法人 東京大学、国立大学法人 東北大学を中核機関とし、一般社団法人 日本経済団体連合会（経団連）とで運営する研究拠点であり、内閣府、文部科学省、経済産業省の支援を得てオープンイノベーションに繋がる研究開発と人材育成を推進している。